

### Ⅲ おわりに

平成24年（2012）診断分の広島県のがん登録報告書が完成いたしました。広島県で地域がん登録が始まってから10年が経過した時点の、県内で発症したがんの集計となり、ますます成熟した登録データになっています。

さて、本報告書における5年相対生存率の記載は、平成22年（2010）集計より始めました。今回は、平成24年（2012）診断のデータです。全部位での5年相対生存率は66.1%（男性；62.9%、女性；70.1%）であり、最も高かった前立腺では99.4%、最も低かった膵臓では8.5%でした。本データを、広島県のがん対策に役立て、県民の健康増進に有意義に使用されることを願います。

また、本報告書での集計においても、本県の登録精度の高さは維持されています。DCN割合は平成23年（2011）集計の6.7%から6.6%、DCO割合は4.1%から2.6%へと向上しております。遡り調査の回収率の高さも反映されていることは間違いありません。DCN割合、DCO割合の向上は全国に誇る数字であり、これはひとえに日々の登録業務にあたっていただいている医療機関の皆様のご理解とご協力の賜と深謝いたします。

ご承知の通り、平成28年（2016）1月から全国がん登録がスタートいたします。これまで地域がん登録で集積したデータは、全国がん登録となり、さらに精度の上がったデータとなることが期待されます。がん対策の推進や医療機関へのフィードバックによる利活用など、これまで以上に有機的に利用されることを、医療関係団体としても切に願っております。

今後とも、広島県のがん登録にご協力いただいております医療機関の皆様に更なるご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年（2016）1月

広島県医師会常任理事 山田 博康  
野間 純  
津谷 隆史